

# 「学館の位置は」

## 理科連が公開質問状提出

理科部連合会(佐々木綱治委員)は、二十日(月)、立憲によつて学生部長宛に、次のような学生会館のロックアウトに関する当局の姿勢を正す旨の公開質問状を立てかけた。

【公開質問状要旨】 現在明治大学において大学としての機能が充分果されているだろうか。大学を人間形成の場として本質を語る姿勢はその影すら見ることが出来ない。具体的には十月九日の機動

隊導入によるロック・アウトからその発端が見られ、現在なお続く学館一部ロック・アウトにその痕跡が見られる。学生としての対話の場としてあるべき学館ロビーすら開放されていないという現状で学生の自治などを考えられるはずはないであろう。しかも、今まで、ロック・アウトされていた学館の一、二階においては牛協会館として現在開放されて日常的に使用されているなど、言語矛盾であろう。今後ロビー、会議室を開放し明大生の人間形成の場として全学生で使用されるべきである。理科連としてはアレハア部室の老朽化は全く用を為し得ないが故に、学館ロビー会議室の位置は当然高い。ここで学館三階フロアーロック・アウトと学館についての以下のように見解を正す。

- 学館の三階フロアーはロックアウトしているのは何故か。
  - 現在、学館をどんなものとして考えているのか。
  - 今後、学館を学内においてどう位置付けるのか。
- 以上、三点を四月二十五日まで明確に回答するようを要請する。